

橋梁用埋設型伸縮装置 **NETIS登録番号 QS-090019-A**

MMジョイント

マトリクス502埋設ジョイント

● 防水性・耐久性・施工性に優れた埋設ジョイント



品質性能 NEXCOの「埋設ジョイント性能照査基準」を満たしています。

◆混合物の配合試験参考値および基準値

舗装混合物(表層)の試験方法に準じ、MMジョイントが舗装(表層)と同等の性能を有することを確認しました。

試験項目	試験細目(単位)	判断基準	試験方法
マーシャル安定度試験	安定度(kN)	3.5以上	試験便覧B001*1
	フロー値(1/100cm)	20以上	
	残留安定度(%)	75以上	
ホイールトラッキング試験	動的安定度DS(回/mm)	800~(3,000)~*2	試験便覧B003*1
チェーンラベリング試験	すりへり量(cm)	1.9未満	試験便覧B002*1
すべり抵抗性試験	(BPN)	60以上	試験便覧S021-2*1

*1 日本道路協会・舗装調査・試験法便覧、平成19年6月 *2 大型交通量:(上段)軽中交通 5000台/日/一方未満(下段)重交通 5000台/日/一方以上

◆実物大供試体試験 [実物大供試体試験により伸縮性能・耐久性を確認]

試験項目	供試体の温度	繰返し回数	判断基準	試験方法
連続試験(耐久性試験)	15℃±3℃	6000回*3	損傷・変状がないこと	NEXCO試験法437
伸縮性能試験(圧縮試験)	60℃±3℃	15回	損傷・変状がないこと	
伸縮性能試験(引張試験)	-10℃±3℃	15回	損傷・変状がないこと	
水張り試験	任意(凍結しない温度)		漏水無いこと	

*3: 15年相当(365日×15年=5475≒6000回)

選定基準 [適用条件]

項目	適用基準
適用橋種	RC橋・PC橋・鋼橋
伸縮量	40mm以下
遊間量	75mm以下
斜角	30度以下
施工幅	標準500mm (固定:400mm~600mm 可動:500mm~600mm)
施工厚	50mm~150mm (歩道部は、別途検討)
活荷重による桁回転の段差量	6mm以下
恒常的に渋滞が発生しない箇所であること。	
車両の発進、停止が頻繁に発生しない箇所であること。	
MMジョイントの接合部の既設舗装が、老朽化していないこと。	

主な使用機械

ショットメルター (溶解釜)

ショットメルター(溶解釜)で、マトリクス502バインダーを193~210℃に加熱する



●ショットメルター



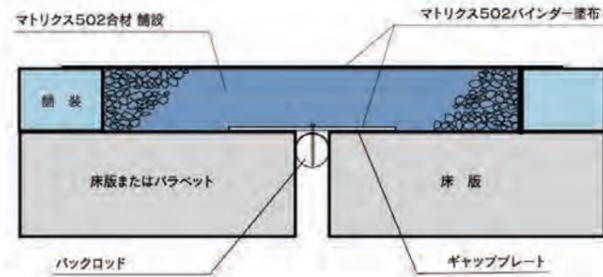
●ドラムミキサー
骨材と502バインダーを攪拌する。

西日本高速道路メンテナンス九州(株)

販売代理店

〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴1-2-22
TEL:092-716-3700 FAX:092-716-3980
Eメール:info@w-m-kyushu.co.jp
URL:http://www.w-m-kyushu.co.jp

標準断面図



MMジョイントは弾性及び付着性に優れた特性を持つバインダー材を使用した防水性と耐久性に富んだ埋設ジョイントで、その高い防水機能によりジョイント部からの漏水を防止し、橋梁端部の損傷を防ぎ、橋梁全体の耐久性の向上、LCCの低減に繋がります。

特徴

防水性

付着性・伸縮性に優れたマトリクス502合材を使用することで漏水を防ぎます。

施工前の漏水状況



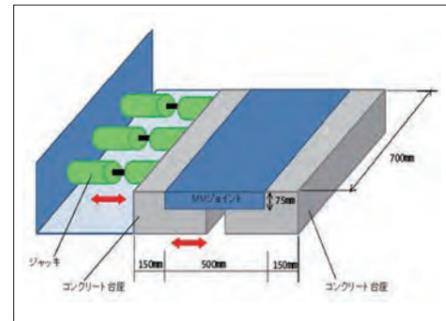
施工後、約2年の状況



性能試験状況

実物大供試体を用いた耐久性試験で実証されています。

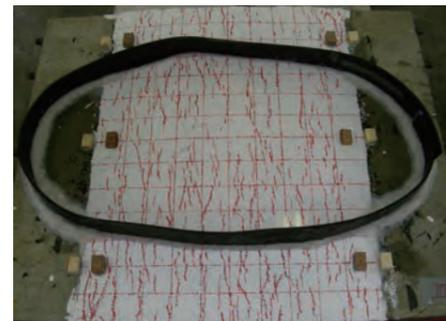
伸縮、耐久性試験後でも損傷の発生はなく、水張試験を実施し優れた耐久性と防水性が明らかになりました。



↑実物大供試体試験 略図



↑試験終了後の供試体状況(連続試験)



↑水張試験状況

施工手順

カッター工 旧ジョイントの撤去 不陸調整工



バックアップ材設置、プライマー、 バインダー塗布及びギャッププレート設置



マトリクス502合材混合

マトリクス502合材舗設

バインダー塗布

転圧

繰り返し

マトリクス502合材を舗設、
バインダーを塗布



D骨材散布

D骨材を散布し、50℃以下になるまで養生

完了



全景写真



施工事例写真



[長崎道 選分橋] (施工:平成24年3月)



[九州道 向佐野橋] (施工:平成22年11月)